

件 名	消防団の年末の夜警について
受付日	令和7年 11 月 12 日
ご意見・ご提案 の概要	<p>消防団は年末に夜警を行っているが、意味がなく、税金の無駄遣いを感じる。無音で回転灯を点けて巡回しても民家のほとんどは気付かず、また、巡回しても火災の発生を未然に防ぐことはできない。</p> <p>町内の役員や市長等が激励に来てくれるが、寒空の下に立たされて士気は低下している。</p> <p>さらに、夜警を行うために、連日夜遅くまで活動しているにもかかわらず、出動報酬は低く、正直やっつけられない。また、連日、大勢の団員へ支払う出動報酬は合計すると無視できないほどの額の税金となり、各分団からの持ち出しもあるため、負担が大きい。</p> <p>慣例で続けていくのはやめてほしい。消防団員の負担解消の観点からも早急に夜警廃止を求める。</p>
県の考え方	<p>消防団の活動内容は、消防団の設置者である市町村が、地域の実情等により決定しています。</p> <p>夜警には、住民に火の元の注意を促す目的のほか、巡回による放火等の発生抑制の目的もあり、ご所属の消防団（市町村）では、こうした夜警の目的や効果、地域住民への配慮、団員の負担等を総合的に検討して、活動内容を決定していると思料します。</p> <p>一方、消防団の活動内容については、様々な状況を考慮し、各消防団（市町村）において適宜見直しが図られています。今回のご意見をぜひ、団にお伝えいただき、より適切で効果的な活動内容を話し合っていたきたいと思います。</p>
担当課	危機管理部 消防課